

政務活動視察報告書

令和8年2月16日

版部良一

視察先 神奈川県真鶴町

- テーマ
- (1) 日本初のまちづくり茶例
 - (2) 地域間交流支援機構
 - (3) 空き屋リノベーション空き屋活用

(1) まちづくり茶例は町の景観を壊さないように米菓を扱う生活に支障がないような工夫と準備にとり、町並みもあり変化しつらうに地域住民も理解を促している町と残っている郷土愛のある町であった。

(2) 地域間の人々の生活と支え合い個人事業を応援し合い地域で子育てをしながらアイデアを出し合いながら作り上げている。株式会社 ARK 湘南製作所の柴山高幸さんは真鶴の空き屋を利用しその一室を工房にし様々な特許製品を作っている。これを真鶴の活気に繋ぎたいとのことだった。

(3) 空き屋リノベーション空き屋活用については字のごとく空き屋利活用である。ではあるが、他自治体とは違いは真鶴の方がターゲットである。同じ町おしの志を持って人達に呼びかけ郷土愛のある方々には空き屋利活用である。LOCO LAB 代表理事も同じく町内の空き屋を利用し事務所を開設している。

※ 旧市の空き屋対策も今一度老齢の方を一定見直し時期が来たのかも知れない。所定してあげれば OK なの。

政務活動視察報告書

令和8年2月17日

服部 良一

視察先 横浜市西区高島 京浜急行電鉄株式会社
モビリティ・プロジェクト 秋本 雅

内容 55 ぶり

京浜急行電鉄が会社として横浜の過疎地域の問題に
会社の力だけでは不十分と地域の力に介入し始めた。

モットーとして「住みたい、住み続けたい、訪れたい」の推進を
始めとし地域の意見聴取をし新しい活動拠点を作り
検討会が開かれる。そして5つのプロジェクトをスタート
することで大事にしている地域の人材育成に何らかの取り組み

その結果子育て世代や高齢者を中心に生活しにくい
環境であることが明らかにされた。

そこで移動課題を解決する

モビリティのバス運行を開始した内容は2018年から年々
改良されている電鉄としては事業が返り赤字でも

運行されている。何んという地域愛の心が感じられる
のであらう。

八幡区にはそのような事業社は期待されているので
行政と地域が力を進めなければならぬのであらう。

常にPRを張っていることが大事と新めた。